

防災コラム

危機管理課

第13回

共助～地域の力で高める防災力～

避難のきっかけは

入間市で大雨が発生し、災害が起これる事が予想される時、あなたは何をきっかけに避難しますか。平成27年9月、関東・東北豪雨において茨城県常総市の避難勧告等の対象地域の住民を対象に、NHKが行った調査では、立ち退き避難をした方のうち、約41%の方が「家族や友人に促されたから」、約13%の方が「自治会の役員や近所の人が避難を呼びかけていたから」と答えています。多くの方が周りにいる人の声かけや助け合いで避難していました。

共助の力

このようなご近所の方との支え合いや地域コミュニティ等による助け合いを「共助」と言います。防災ではこの共助の力が、自分で災害に備える自助と並んで重要なものと考えられています。

災害対策基本法でも、地域で行う自発的な防災活動である防火訓練への参加など、共助の取り組みにかかわっていくことを住民の努力義務として挙げています。

地域の行事

「防災」というと、「防災訓練」や「避難訓練」、「初期消火訓練」などの、災害対策に直接関係する訓練が頭に浮かびますが、共助の基本は「顔がわかる関係づくり」です。訓練以外の地域行事に参加することも、立派な防災活動の一つということができます。

入間市では、6月に市連合区長会と市が共催で「市民清掃デー」を行っています。また7月から8月に



夏祭りの様子

は多くの区・自治会で「夏祭り」が行われています。他にも、区・自治会と市、市社会福祉協議会の連携のもとに行う「敬老会」や日常的な取り組みとして防犯パトロールなどが実施されています。このような行事への参加をきっかけとして、「あいさつを交わす関係」や「顔がわかる関係」を結んでいくことが、いざという時に大きな助けとなる「共助」の力を強くします。ぜひ地域の行事に参加しましょう。